

JA名取岩沼自己改革取組宣言

～これまでも、これからも、組合員・地域の皆様と共に JA 名取岩沼は総合事業を展開します～

- 自己改革の基本目標である「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化」を基本目標として、第5次中期経営計画に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JA は、農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JA バンク）、共済事業（JA 共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方でも JA の各事業をご利用いただいている方には、JA の応援団として准組合員に加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JA の経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能になります。

主な取り組みを次の3点により紹介します。 ※【】は令和元年度計画値

1. JA米等の買取販売【買取販売高：1,772 t】
農業者の所得増大のための買取販売に取り組んでまいります。
2. 肥料・農薬や生産資材の価格引き下げ【生産資材供給高：673 百万円】
取扱品目の集約、予約購買の徹底、規格統一化等により、低コスト化に取り組んでまいります。
3. 農業メインバンクとしての更なる機能発揮【農業融資実行額：184 百万円】
総合事業のJAとして、営農部門と金融部門が柱となり、必要な設備投資等の提案だけではなく、資金相談も含めた農業メインバンクとしての機能を発揮してまいります。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次のとおりで、予算額は10,050千円です。

- ①生産部会等の研修会・講習会・視察等を実施すると共に、活動に対する助成を実施。【水田営農確立対策費：500千円、園芸振興費：1,480千円】
- ②病虫害への対策に要する殺虫剤等への助成を実施。【病虫害対策費：4,350千円】
- ③各種イベント等で農産物のPRを実施。【販売推進費：1,525千円】